

戦闘のなかった八重山諸島で、軍命により、**3600人**もの住民が死んだ。

映画『**沖縄スパイ戦史**』の共同監督が

ジャーナリストの使命と気概で**その闇に迫る!**

話題の
大労作

推薦

金平茂紀

ジャーナリスト

望月衣塑子

東京新聞記者

ジャン・ユンカーマン

映画監督

著者 **大矢英代** おおやはなよ



1987年、千葉県出身。
琉球朝日放送記者を経て、フリー
ジャーナリスト、映画監督。
ドキュメンタリー映画『沖縄スパイ戦
史』(2018年・三上智恵との共同監督)
で文化庁映画賞優秀賞、第92回キネ
マ旬報ベスト・テン文化映画部門1位
など多数受賞。ドキュメンタリー番組
『テロリストは僕だった〜沖縄・基地
建設反対に立ち上がった元米兵たち
〜』(琉球朝日放送、2016年)でテレ
ビ朝日プロGRESS賞最優秀賞。

2018年フルプライム奨学金制度で渡米。以降、米国を拠点に軍隊・国家の
構造的暴力をテーマに取材を続ける。

早稲田大学大学院政治学研究所ジャーナリズムコース修士課程修了(2012
年)。現在、カリフォルニア大学バークレー校ならびに早稲田大学ジャーナリ
ズム研究所客員研究員。

もくじ(抜粋)

はじめに—もうひとつの沖縄戦

1章 住民3600人の死の真相を追って

地上戦なき島々の沖縄戦・戦争マラリアとの出会い
日本軍はマラリアの危険性を知っていた
戦争マラリアは本当に解決したのだろうか

2章 島で暮らしながら撮る

戦争マラリアが孝子おばあから奪ったもの
波照間の強制移住/謎の男・山下虎雄
慰霊の日/さよなら、波照間

3章 戦争マラリアはまだ終わっていない

ドキュメンタリー映画『沖縄スパイ戦史』制作へ
山下の影を追う/最後の挺身隊員と死ぬための訓練
監視下に置かれた住民たち/山下の肉声

最終章 なぜ今、戦争マラリアなのか

日本最西端の自衛隊基地・与那国島
自衛隊誘致したけれど…/米国による日本の再軍備化
「また戦争をするんかやあ」

おわりに—みんなが生きてきた証を残す

大矢英代
Oya Hanayo

日本で唯一の地上戦が起きた**沖縄**
戦闘がなかった波照間島で住民たちは**なぜ**死んだのか?

ドキュメンタリー映画
「**沖縄スパイ戦史**」の
共同監督が挑む

**沖縄戦の最暗部・
ノンフィクション**

推薦 **金平茂紀** 望月衣塑子 ジャン・ユンカーマン
ジャーナリスト 東京新聞記者 映画監督

あけび書房 定価 本体1600円+税

四六判並製・224ページ **本体1600円** ISBN978-4-87154-166-4

あけび書房

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5
TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609
http://www.akebi.co.jp akebi@s.email.ne.jp

キリトリ線

ご記入のうえ、最寄りの書店が取扱先、あるいはあけび書房が著者へご注文下さい。

発行 **あけび書房** TEL03-3234-2571 FAX03-3234-2609

注文書

書店印・取扱先

沖縄「戦争マラリア」 強制疎開死3600人の真相に迫る ()冊 注文します

その他・備考

氏名・団体名

ご担当者
氏名

送り先 〒()-()

電話 ()